

量 600mL でした。

開腹に踏み切るまで、町田医師からの開腹提案は合計 4 回に及びました。
その後も出血は続き、最終的には 3000mL の吸引出血量があったのです。

林医師 あせった様子で・・・

「止血鉗子急いで！ ガーゼ下さい！ 患部が見えない！吸引急いで！！」

看護師 A (直介) 林医師に止血鉗子，ガーゼを渡す。

林医師 止血鉗子を受け取り，止血する。

木村医師

「ライン取れました！」

<警告アラーム鳴る>HR60 に低下， 血圧 70/20 に低下

小川医師 (麻) やや叫びながら・・・

「血圧が下がっています。70/20！追加の血液はまだ！？」

看護師 B

(外回り) 「届きました！」

小川医師 (麻) 「急いで血液追加して！」

看護師 B

(外回り) 「はい！」

林医師 「よし，止血終わった。縫合するぞ！」

看護師 A (直介) 持針器と縫合糸を医師に渡す

林医師 縫合を始める

小川医師 縫合が終わった瞬間，モニターの警告アラームがけたたましく鳴り響く・・・

「VT！」

林医師 叫ぶように・・・

「心マ始めて！除細動器もってきて！」

前川医師 心臓マッサージを始める

看護師 B

(外回り) 「はい」(除細動を持ってくる)・・・

看護師 A (直介) (外回り Ns へ)「応援の人を呼んで下さい！」

小川医師 (外回り Ns へ)「輸血追加も追加で頼んでおいて！」

看護師 B

(外回り) (受話器を手に取り)「急変です！応援お願いします。」・・・

ここで一旦終了。

ナレーション なんとか蘇生し，手術は終了しました。

血圧が低いまま患者はそのまま ICU に運ばれ，引き続き心臓マッサージを受けることになりました。

そして，再度追加した血液が，やっと血液センターより到着しました。

患者はまだまだ輸血が必要な状態だったのです。

患者は昏睡の後，1 ヶ月後に死亡しました。